

シラバス (授業計画)

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
会計監査特論	1・2年生	選択	2単位	坂根 純輝
<p>授業の到達目標及びテーマ 授業では「監査とはなんだろう」という基本的な問題意識を持って、監査が果たしている社会的役割について理解することを目標とします。</p>				
<p>授業の概要 私たちは社会生活を営むかぎり、各種の組織や団体と無関係ではありえません。このような組織や団体では、必ず誰かが会計報告を作成し、また誰かがその会計報告を監査しているのです。これまでは一部の人達を除いて、監査に対しては比較的無関心であったと言えるでしょう。ただ、監査は、身近なところにあり、直接・間接に私たちと深い関わりを持って機能しています。とりわけ、企業と利害関係を持つ場合、企業が公表する財務諸表は、私たちと企業とを結ぶ重要な連結環であり、そのため、財務諸表が信頼できるものであるという保証があって初めて、私たちは安心して財務諸表を利用することができることとなります。監査は、このような財務諸表の信頼性の保証に大きな役割を果たします。 会計監査特論では、上述した財務諸表監査の役割を意識しながら講義を展開していきます。</p>				
<p>授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション</p> <p>第2回 監査の必要性和法定監査制度</p> <p>第3回 監査全体の流れ</p> <p>第4回 監査基準</p> <p>第5回 リスクアプローチ監査</p> <p>第6回 内部統制</p> <p>第7回 監査計画</p> <p>第8回 監査の実施</p> <p>第9回 監査結果の報告</p> <p>第10回 監査の品質管理</p> <p>第11回 監査をめぐる国際的な動向</p> <p>第12回 内部統制監査</p> <p>第13回 公監査</p> <p>第14回 財務諸表監査の周辺業務</p> <p>第15回 まとめ</p> <p>第16回 定期試験等 (課題研究レポート)</p>				
<p>履修上の留意点、準備学習等 (事前・事後学習) 報告者は、事前に報告資料を作成してきてください (2時間程度) 講義後に復習を行うことが望ましいです (2時間程度)</p>				
<p>テキスト 長吉眞一、伊藤龍峰他『監査論入門 [第3版]』中央経済社</p>				
<p>参考書・参考文献・参考資料等 適宜、資料配布を行うとともに、参考書についても具体的に指示します。</p>				
<p>成績評価の方法・基準 報告の内容および討議への参加の積極性を中心に総合的に評価します。</p>				